年	間指導	 計画											
2011			対象年次 単位数 科目担当者					使用教科書等	2241				
国語論理国語		3 2 東條・川崎					高等学校 論理国語(第一学習社)						
教	【知識及び	技能】	【思考力、判	」 判断力、表	現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
料 の 生涯にわたる社会生活に必要な国語について, その特 質を理解し適切に使うことができるようにする。					における他者との関れ や想像力を伸ばす。	りの中で伝	え	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに,言が国の言語文化の担い手としての自覚をもち, を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				•	
科	【知識及び		【思考力、判	」 判断力、表	現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
目の目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。		「書くこと」、「読むこと」の領域において、論的・批判的に考える力をのばすとともに、創造的える力を養っている。					言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への している。					
		単元の具体的な指導目標	指導	 算項目・				評価基準	知	思	態	配当時数	
	(単元名	(4) 人間という中心と、それよりも〈軽い命〉	B.// ///	-\ 114	(** C) = C (** + ***	=-							
	成や展開の	増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構 しかたについて理解を深めることができる。	・具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深め					【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。					
	がら要旨を	、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしな 把握することができる。	る。 【使用教材】 教科書・準拠ワーク・漢字ワーク・現代文単				【思考・判断・表現】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確に がら要旨を把握している。		0	0	0	6	
	具体と抽象 習課題に沿	学習に取り組む態度】 の関係を整理しながら本文を粘り強く読み、学 って本文の構成を捉えることができる。	ワーク			具作	(主体的に学習に取り組む態度] (体と抽象の関係を整理しながら本文を粘り強く読み、学 課題に沿って本文の構成を捉えようとしている。						
	【知識及び語句の量を	(4) 言語が見せる世界 技能】 増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構 しかたについて理解を深めることができる。	理構成を把握・語句の量を	屋し、言語 を増やし、	(意見)の関係を整理と認識の関係を理解する と認識の関係を理解する。 しかたについて理解を	る。 語句 成 ³	【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。						
	の考えを論	の関係について述べた文章の内容を基に、自分 述したり発表したりすることができる。	る。 【使用教材】 教科書・準拠ワーク・漢字ワーク・現代文単語 ワーク					【思考・判断・表現】 言語と認識の関係について述べた文章の内容を基に、自分 の考えを論述したり発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】			0	7	
	学習課題に	学習に取り組む態度】 沿って、積極的に身の回りのものの概念を考え それが「プロトタイプ」と言えるかどうか判定 できる。					学習課題に沿って、積極的に身の回りのものの概念を考えて発表し、それが「プロトタイプ」と言えるかどうか判定しようとしている。						
1	定期考望	-							0	0		1	
	(/	4) 身体の個別性	・ピアジェの	の「自己中	心性」や河上肇の「禾	他性!							
学		技能】 増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構 しかたについて理解を深めることができる。	と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。					【知識及び技能】 注目の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。					
期	根拠や論拠	断・表現】 を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟 を解釈することができる。						【思考・判断・表現】 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟 味して内容を解釈している。			0	6	
	筆者が指摘	学習に取り組む態度】 する「自己中心的利他性の弊」について自身に 考え、積極的に自身の考えを発表することがで				筆 引:	【主体的に学習に取り組む態度】 筆者が指摘する「自己中心的利他性の弊」について自 引きつけて考え、積極的に自身の考えを発表しようと いる。						
	【知識及び語句の量を	が いのちのかたち 技能】 増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構 しかたについて理解を深めることができる。	者の抱く「い ・語句の量を	ハのち」の を増やし、	せるための論展開を拡 概念について考察する 語彙を豊かにする。 しかたについて理解を	。 【5 語 ⁴	筆 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。						
		断・表現】 との関係について理解を深め、情報を階層化し ことができる。					「恋考・判断・表現」				0	6	
	「いのち」 べる評論を	かうカ、人間性等】 と「生命」の違いを示しながら筆者の主張を述 粘り強く読み、学習課題に沿って段落構成を分 落の要旨をまとめることができる。			ر ا	【学びに向かう力、人間性等】 「いのち」と「生命」の違いを示しながら筆者の主張を述べる評論を粘り強く読み、学習課題に沿って段落構成を分析し、各段落の要旨をまとめようとしている。							
	定期考查	Š							0	0		1	

	(単元名) リスク社会とは何か 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めることができる。	・リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のありようについて考える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。				
	【思考・判断・表現】 リスク社会の中での人間のあり方について、自分の考えが 的確に伝わる文章になるよう工夫して論述することができ る。	【使用教材】 教科書・準拠ワーク・漢字ワーク・現代文単語 ワーク	【思考・判断・表現】 リスク社会の中での人間のあり方について、自分の考えが 的確に伝わる文章になるよう工夫して論述している。	0	0	0	6
	【主体的に学習に取り組む態度】 リスク社会における人間のありようについて考えたことを 粘り強く文章にまとめ、積極的に発表することができる。		【主体的に学習に取り組む態度】 リスク社会における人間のありようについて考えたことを 粘り強く文章にまとめ、積極的に発表しようとしている。				
	(単元名) コスモポリタニズムの可能性 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めることができる。	 「コスモポリタニズム」の定義や筆者の主張を理解し、グローバル社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深め 					
	【思考・判断・表現】 グローバルリズムとコスモボリタニズムの関連を、文章の 内容を基に的確に捉え、自分の考えを論述したり発表した りすることができる。	る。 【使用教材】 教科書・準拠ワーク・漢字ワーク・現代文単語 ワーク	【思考・判断・表現】 グローバルリズムとコスモポリタニズムの関連を、文章の 内容を基に的確に捉え、自分の考えを論述したり発表した りしている。	0	0	0	6
2	【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って、グローバル化する社会の中で「コスモポリタン」という自覚をもって生きることについて考え、 自身の考えを積極的に発表することができる。		【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って、グローバル化する社会の中で「コスモボリタン」という自覚をもって生きることについて考え、 自身の考えを積極的に発表しようとしている。				
<u> </u>	定期考査			0	0		
1	語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 接続語に着目することで、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。	て主張を捉え、身の回りの制度について考える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深め る。 【使用教材】 教科書・準拠ワーク・漢字ワーク・現代文単語 ワーク	語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 接続語に着目することで、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。		0	0	(
	【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って、身の回りにある「制度」の目的や役割 についてまとめ、積極的に説明することができる。		【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って、身の回りにある「制度」の目的や役割 についてまとめ、積極的に説明しようとしている。				
	(単元名) 「である」ことと「する」こと 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 民主主義社会のあり方について述べた文章の内容を基に、	・具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【使用教材】	を深める。 おの量を増やし、語彙を豊かにするとともに、文章の様成や展開のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 民主主義社会のあり方について述べた文章の内容を基に、				
	「する」と「である」の例から主体意識について自分の考えを論実したり発表したりすることができる。 【学びに向かうカ、人間性等】 学習課題に沿って例を探しながら「『である』価値と『する』価値の倒錯」について考え、どうなれば民主化が進んだ状態と言えるのか、考えたことを積極的に発表することができる。	教科書・準拠ワーク・漢字ワーク・現代文単語ワーク	「する」と「である」の例から主体意識について自分の考えを論実したり発表したりしている。 【学びに向かうカ、人間性等】 学習課題に沿って例を探しながら「『である』価値と『する』価値の倒錯」について考え、どうなれば民主化が進んだ状態と言えるのか、考えたことを積極的に発表しようとしている。				
	定期考査			0	0		
	※大学入試対策演習 【知識及び技能】	共通テスト過去問などを用いての入試対策演習	【知識及び技能】				
5	【思考・判断・表現】		【思考・判断・表現】				
3	【主体的に学習に取り組む態度】		【主体的に学習に取り組む態度】				
H				1	合計		5

任	間指導	 計画													
教科		 	対象年次	単位数	科目担当者						使用教科書等				
	外国語	3 3 清水忠一・津田かお ・村田優子・田中郎					i			MY WAY English Communication III					
教科の目標	科 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、こ れらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニ ケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身			【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会 外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的研											
科目の目標	れらの知識を、	語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、こ 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニ いて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身		意図などを的					【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニ とする態度を養う。						
		単元の具体的な指導目標	指導	尊項目・	内容(教材等)	聞	読	領域話や	話発	書	評価基準	知	思	態	配当時数
	Lesson 4 Sesa 【知識・技能】 ・外国語の音声 きる。	ng with Nature - Takita Asuka's Journey ame Street で結構、表現、文法、言語の働きについて理解を深めることがで なての音声や結集、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこ	必要な情報を読み Strategy for Re 意味のまとまりこ Strategy for Re	Strategy for Reading 1 シ脚な情報を読み取る Strategy for Reading 2 感味のまとまりごとに理解する Strategy for Reading 3 キープードやpeiがあり組要を把握する							【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこ を、終むこと、話すこと、書くとによる実際のコミニケーションにおいて、				
1 学	と、読むこと、目的や場面、サ 【思考力、判断 コミュニケーシ 的な話題につい 手の意図などを たりすることか 【学びに向から 外国語の背景に	話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、 沢などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 (力、表現力等) ・ョンを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会 って、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き ・治確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っ	イーン・ハイドを表現がつ場めをよります。 Strategy for Reading 4 模別情報を利用して読み取る Lesson 4 ・折り紙の効果について理解する ・列撃のディスコースマーカーに注意する ・趣味がちたらす効果について話し合う Lesson 5 ・英語のつづりの特徴について理解する ・ 英語のつづりの特徴について理解する ・ 英語のつづりの特徴について話し合う ・ 英語のづづりや新しい表記について話し合う								目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会 的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き 手の慮切などを狩猟に増解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っ たりしている。 「主体的に学習に取り組む地度」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手 に配慮しながら、其体的、自神的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう				
期	とができる。			1		0	0	0	0	0	としている。	0	0		30
	(単元名) Lesson 7 "Eng	算・期末考査 glishes" in the World pika Kurup - The Science Behind Clean Water	Strategy for Re 論理の展開を把握 Strategy for Re 論理の展開を把握	屋する(列挙・f eading 6									O		
2	きる。 ・外国語につい	いての音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めることがで いての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこ 話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、	話の要点を理解す Strategy for Re 話者や筆者の意図 Lesson 6	論理の原附を把握する(原因・結果) Strategy for Reading 7 話の現点を理解する Strategy for Reading 8 話者で筆者の意図を推測する Lesson 6							【知識・技能】 ・外国語の音声や揺像、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や揺像、表現、文法、言語の働きをにの理解を、聞くこ と、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、 目的や細胞、状況などに応じて強切に活用できる技術を身に付けている。				
学	コミュニケーシ 的な話題につい 手の意図などを	が、表現力等] パコンを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会 が、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き の物値で開発したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っ か、人間性等]	・何度も出てくる ・日常生活でAIC Lesson 7	3内容語から概 こ期待することに - セイさんのア	用について理解する 要を把握する こついて話し合う ップサイクル活動について理解する	5					【思考・判断・表現】 コミュンケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会 的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き 手の意図などを的確に理解したり、ごれらを活用して適切に表現したり伝え合っ 【主体的に学習に取り組む態度】				
期		:ある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手 5、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図るこ			品に興味があるか、話し合う	0	0	0	0	0	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手 に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう としている。				50
	中間考望	登・期末考査										0	0	1	2
		World's Poorest President	・視覚情報	を利用して							Troug 4466				
3	きる。 ・外国語につい 【思考力、判断	さい語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めることがでいての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこれ、表現力等) ・ (力、表現力等) ・ (コンを行う目的)や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会									「知識・技能」 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を、聞くこと、誘致こと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、 「思考・料断・表現」 ・フミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会				
学期	的な話題につい 手の意図などを 【学びに向かう 外国語の背景に	つて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書きの確定に解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っ かの確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っ か、人間性等) ある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手 、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図るこ					0	0	0	0	的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き 手の意図などを的確に理解したり、ごれらを活用して適切に表現したり伝え合っ 「主体的に学習に取り組む態度」 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手 に配慮しながら、主体的、自律物に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう				20
												0	0		1
													合計	†	105

年	間指導	 計画										
		対象年次 単位数 科目担当者					使用教科書等					
	保健体育体育		3 2 持田・中馬・峯岸・有光・高に				日・渡邊	50.1550.1144.15				
教	【知識及び	技能】	【思考力、判	判断力、表	現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
科の	各種の運	動の特性に応じた技能等及び社会生	運動や健康	康につい	ての自他や	社会の課題を	2発見	生涯にわたって継続して運動に親しむと	とも	に傾	康	の保
		る健康・安全について理解するとと					_判断	持増進と体力の向上を目指し、明るく豊	かで	活力	Jあ.	る生
標	もに、技	能を身に付けるようにする	するとと	もに、他	!者に伝える!	刀を養り。		活を営む態度を養う。				
科	【知識及び	 技能】	【思考力、料	」 ^{训断力、表}	現力等】			【学びに向かう力、人間性等】	-			
B						社会の課題を	> 発目	生涯にわたって継続して運動に親しむ態	歩	身に	付1	けて
		動の特性に応じた技能等及び社会生						る。健康の保持増進と体力の向上を目指				
標	店におけ	る健康・安全について理解する。	するとと	もに、他	者に伝える。)		で活力ある生活を営もうとする。				
		単元の具体的な指導目標	指導	算項目・	内容(教材	等)		評価基準	知	思	態	配当 時数
	(単元名	3) 陸上競技										
	【知識及び	技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題					【知識及	及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題				
14		などの多様な楽しさや喜びを味わい、走り方の						するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、走り方の				
1		の高め方、課題解決の方法を理解する。 判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを	1015.0	15 (05)				本力の高め方、課題解決の方法を理解できる。				
		判断力、表現力等1目ご1944間の考えたことを、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課	槍投げ(投擲)					り、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを 云え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課		0	\circ	6
		、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を	ターボ(投擲)					記し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を			_	
	工夫する。	C II-IF THE STORM CONTROL OF THE STATE OF TH					工夫でき					
_	【学びに向	かう力、人間性等】短距離走に主体的に取り組					【学びに	こ向かう力、人間性等】短距離走に主体的に取り組				
	み、ルール	やを大切にする。健康・安全に留意し、一人一					み、ル-	-ルやを大切にできる。健康・安全に留意し、一人				
期	人の違いに	応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。					一人の違	違いに応じた課題や挑戦を大切にできる。			<u> </u>	
	(単元名	<mark>公</mark>)球技										
	【知識及び	技能】勝敗を競ったり、チームや自己の課題を					【知識及	 及び技能】勝敗を競ったり、チームや自己の課題を	1			
	解決したり	するなど、多様な楽しさや喜びを味わい、技術						こりするなど、多様な楽しさや喜びを味わい、技術				
	などの名称	や技能の高め方、体力の高め方、課題解決の方					などのネ	呂称や技能の高め方、体力の高め方、課題解決の方				
		どを理解する。 判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを	16.1					我などを理解できる。 り、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを	_			
		、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課	ソフトボール					元、刊聞力、表現力等1 日こと中間の考えたことを 云え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課	0	0	0	6
		、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を						記し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を		_		
	工夫する。						工夫でき	≛る。				
	【学びに向	かう力、人間性等】健康・安全を確保しなが				こ向かう力、人間性等】健康・安全を確保しなが						
		主体的に取り組む。フェアプレイを大切にし、						支に主体的に取り組める。フェアプレイを大切に				
		違いに応じたプレイを尊重し、互いに助け合い						人一人の違いに応じたプレイを尊重し、互いに助け ・^				
	高め合おう	<u></u>					占い局が	か合える。	1			
	(単元名	4)水泳										
	【知識及び	技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題					【知識及	 及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題	1			
	を解決する	などの多様な楽しさや喜びを味わい、泳法の名					を解決す	するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、泳法の名				
	称や行い方	、体力の高め方、課題解決の方法を理解する。	クロール				称や行い	い方、体力の高め方、課題解決の方法を理解でき				
	自己に適し	た泳法の効率を高める泳ぎをする。					る。自己	己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。				
	【思考力、	ブレスト	•			【思考力	り、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを	0	0	0	12	
			バック					云え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課				
		、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を	バタフラ	イ				見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を -				
	工夫する。						工夫する					
		かう力、人間性等】水泳に主体的に取り組み、						こ向かう力、人間性等】水泳に主体的に取り組み、				
		ナーを大切にする。健康・安全に留意し、一人						やマナーを大切にする。健康・安全に留意し、一人 鼻いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしてい				
	一人の遅い る。	に応じた課題や挑戦を大切にしようとしてい					一人の ₂ る。	産いに心しに課成\゚゚が戦で大切にしよつとし(い				
ш	٥٠،		l				٥٠٥		1	1		I

_								
	(単元名)球技							
	【知識及び技能】勝敗を競ったり、チームや自己の課題を		【知識及び技能】勝敗を競ったり、チームや自己の課題を					
	解決したりするなど、多様な楽しさや喜びを味わい、技術		解決したりするなど、多様な楽しさや喜びを味わい、技術					
	などの名称や技能の高め方、体力の高め方、課題解決の方		などの名称や技能の高め方、体力の高め方、課題解決の方					
2	法、作戦などを理解する。		法、作戦などを理解できる。					
	【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを	バスケットボール	【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを		0			
	他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課	サッカー	他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課					
	題を発見し、台埋的、計画的な解决に向け(取り組み方を	3 3 /3	題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を					
字	工夫する。		工夫できる。					
	【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保しなが		【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保しなが					
	ら、球技に主体的に取り組む。フェアプレイを大切にし、		ら、球技に主体的に取り組める。フェアプレイを大切に					
	一人一人の違いに応じたプレイを尊重し、互いに助け合い		し、一人一人の違いに応じたプレイを尊重し、互いに助け					
期	高め合おうとする。		合い高め合える。				13	
	(<mark>単元名</mark>) 球技							
	 【知識及び技能】勝敗を競ったり、チームや自己の課題を	ソフトボール	【知識及び技能】勝敗を競ったり、チームや自己の課題を					
	解決したりするなど、多様な楽しさや喜びを味わい、技術	バレーボール	解決したりするなど、多様な楽しさや喜びを味わい、技術					
3	と などの名称や技能の高め方、体力の高め方、課題解決の方	±±±	などの名称や技能の高め方、体力の高め方、課題解決の方					
	【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを	サッカー	【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の考えたことを					
	他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課	卓球	他者に伝え、運動を豊かに継続するための自己や仲間の課	0	0	0		
	題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を	バドミントン	題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を					
学	工夫する。	バスケットボール	工夫できる。					
	【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保しなが		【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保しなが					
	ら、球技に主体的に取り組む。フェアプレイを大切にし、		ら、球技に主体的に取り組める。フェアプレイを大切に					
期	一人一人の違いに応じたプレイを尊重し、互いに助け合い		し、一人一人の違いに応じたプレイを尊重し、互いに助け				20	
				í	合計		70	

年	間指導計画														
			対象年次	単位数	科目担当		<u> </u>	使用教科書等							
総合 総合的な探究の時間			3 2 清水・嶺・浅見・東條・豊田					・内田 第一学習社「小論文チャレンジノート」「現代を知るPlus」「朝日新聞」「入試頻出キーワー							
教科の目標	科 社会の課題を主体的に調べ、その課題に対してどのような姿勢で臨むのか考えることができる。自分の個性、適正や興味関心のある領域について学び、理解と知識を深める。			判断力、表現 る媒体を活 や「論理的	舌用した。		「社会	【学びに向かう力、人間性等】 社会 調べ学習を通して主体的な学ぶ態度を養い、社会に貢献する姿勢を養う。							
					<u> </u>										
科目	【知識及び技能】 社会の課題を主体的	りに調べ、その課題に対してどのような		判断力、表現 通して学んだ		果題に対してどのよ	うに貢	【学びに向かう力、人間性等】 社会の共通の課題に対して関心を抱き、社会の	より良い	姿を 美	€現す	うた			
の目標	の 姿勢で臨むのか考えることができる。自分の個性、適正や 興味関心のある領域について学び、理解と知識を深める。			ができるかる	を考え、君	長現することができ	:る。	めに貢献しようとする。							
	H-	の日仕的お花道口標	452	<u> </u>		#h++**		=亚/正甘光	-			配当			
		の具体的な指導目標	指導	尊項目・	内谷 (教材寺 <i>)</i>		評価基準	知	思	態	時数			
1	(単元名:情報探索・小論文) 卒業研究 ①卒業研究の計画立案、調査研究。 ②指定書式で研究成果のまとめ。 ③指定書式で研究成果のまとめ。			計画を立案である情報を自然のできます。	ら収集する 活動する。			クシート	0	0	0	3			
学	④指定時間内 [*] 	で研究結果の発表。	・計画に従い	る情報を自身 い積極的に対	活動する。		.7-/	グシート	0	0	0	2			
			・計画に従い積極的に活動する。 ・研究成果を適切に発表する。				・発表			0	0	3			
期		・計画に従い積極的に活動する。 ・研究成果を適切に発表する。				・ワー <u>?</u>	クシート	0	0	0	1				
743								0		0	1				
	(卒業研究・小														
	(学業研究・小編文) 卒業研究 ⑤論文の完成 ⑥発表準備 ⑦まとめ 進路活動 社会人に必要な力の育成講話など	力の育成講話など	異文化理解授業 卒業研究ガイダンス① ・外部講師の講演を聞く ・卒業研究の進め方について理解する ・マインドマップを作成することによって、自分の 卒業研究 ・卒業論文の序論を書き、依頼書を作成する 卒業研究 ・卒業論文の序論を書き、依頼書を作成する				・発表	クシート	0	0	0	2			
学	卒業研究まとめ ・卒業研究成: 社会人に必要な:	果発表会 力の育成講話など					・小論ご	文	0	0	0	3			
		JOV PAINAINTING	き方を身につ	つける	を聞き、小	(論文の基礎的な書			0	0	0	2			
期	,		小論文・模詞 実力診断テジャ模試を受け				・小論ご	×		0	0	4			
				• 🌣	業発表会			・ワークシート	0	0	0	1			
3	(単元名:卒業)	研究)													
	(単元名:卒業研究) ・自分の個性、適正や興味関心のある領域について学び、理解と知識を深める。 ・調べ学習を通して学んだ社会の課題に対してどのように貢献することができるかを考え、表現することができる。 ・社会の共通の課題に対して関心を抱き、社会のより良い姿を実現するために貢献しようとする。			・論理的に思考する。				.! クシート	0	0	0	4			
				 ・計画に従い積極的に活動する。 ・論理的に思考する。・卒業研究成果発表会・社会人に必要な力の育成講話を聞く ・面接の練習をする。 ・社会人に必要な力の育成講話を聞く 			・ワー? ・発表	クシート	0	0	0	2			
学期	点如少木 。														
74/1	定期考査なし						+			 合計	-	28			